

## 倉本風花 看護師

西南女学院大学

保健福祉学部 看護学科卒

私が大学生生活で意識したことは、挑戦するということです。私は、あまり人前でなにか行動を起こすことは得意ではありませんでした。高校時代には、周囲の生徒の探究心の凄さや行動力に圧倒され、自分の無力さを感じた3年間でした。しかし、大学入学とともに心機一転し、大学生生活は自由だからこそ挑戦したいと思い、自分の殻を破るべく行動した4年間でした。

まず、1つ目の挑戦として将来の夢である看護師免許を持った養護教諭になることです。つまり、教員免許と看護師国家資格の取得に向け、挑戦を始めました。教職課程で学ぶには、まず学科内で行われる選抜試験を通過する必要があります。通過の条件の1つに、GPAが大きく関わってくるため、1年次は看護の基礎を正しく理解することに努めました。そのためには、自己学習はもちろんですが疑問点をそのままにすることなく、教員に質問をすることで解決するように努めました。そのおかげもあり、無事に選抜試験を通過しました。通過後は、いよいよ教職課程の勉強が本格的に始まりました。看護過程と教職課程の履修は、体力的にも精神的にもハードでしたが、乗り越えられたのは友人の助けと自分なりに計画的に物事を進める力を身に付けていったことにあると思います。大学3年になると、看護の勉強がより専門的になり、課題も多くなり始めました。その中で、看護の勉強と教職の勉強の大変さに心が折れかけたこともありましたが、教職のメンバーとともに、教え合い、鼓舞しあったことで大変な時期を乗り越えることができたと思います。本当に感謝しています。また、2つの課題を乗り越えるために、計画を立てて、勉強することを心掛けました。もちろん、計画が上手くいかない時もありますが、柔軟に対応するようにし、乗り越えてきました。この、計画的に物事を進めることは、4年次の教員採用試験・看護師国家試験対策にとっても活かすことが出来ました。現在は、看護師として働き、看護師としての知識・技術を身に付けているところです。子どもの異変に気づき、対応し、時には適切な機関に繋がられるように、まずは看護師として成長したいと考えています。その後、養護教諭として働けるように少しずつではありますが、教員採用試験の勉強に励みたいです。

2つ目は、趣味をもっと楽しむことです。私の趣味は、大学駅伝を観戦することです。私は、なかなかなにかに熱中することはありませんでした。そのため、せっかくの趣味をもっと楽しめたらいいなと思い、3大駅伝の出雲駅伝・全日本大学駅伝・箱根駅伝を大学生のうちに観戦することを目標としました。高校生まではテレビで駅伝観戦をすることしかできませんでしたが、大学生になるとアルバイトで貯めたお金を使い、現地で観戦することができるようになりました。結果としては、コロナ渦であったことや実習などの関係で出雲駅伝・箱根駅伝しか観戦することが出来ませんでした。実際に観戦することでより大学駅伝に熱中するきっかけになったように思います。よく、親から息抜きのために趣味を持ちなさいと言われていましたが、大学駅伝に巡りあえて良かったと思います。今は、仕事を頑張る原動力にもなっています。まずは、全日本大学駅伝に観戦に行こうと思っています。

私の中での大きな挑戦として、この 2 つを挙げましたが色々なことに挑戦した 4 年間でした。挑戦しないと何も生まれることはありませんが、挑戦したことで自分の成長に繋がったと思うと、勇気を出して挑戦できて良かったと思います。大学 4 年間で挑戦は終わらず、今後も挑戦し続ける人生を歩みたいと思います。まずは、看護免許を持った養護教諭になるべく努力を続けたいです。